

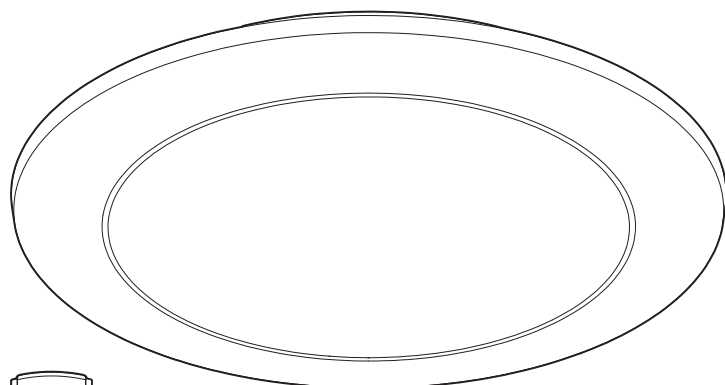
LED シーリングライト

保管用

CL8DL-IDR

CL12DL-IDR

取扱説明書



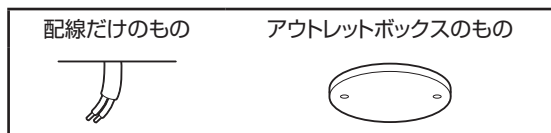
主な機能

- 調光10段階
- 調色11段階
- メモリ点灯
- るすばん機能
- おやすみタイマー
- シーン選択
- チャンネル切り替え (2チャンネル)

取り付け可能な天井配線器具形状

天井からの 出しろ	20mm以上24mm未満			10mm以上14mm未満	
形状	角型引掛 シーリング	丸型引掛シーリング・ローゼット 耳部			埋込引掛ローゼット 耳部
	角型引掛 シーリング	丸型引掛 シーリング	フル引掛 ローゼット	丸型フル引掛 シーリング	埋込ローゼット (耳つき) 埋込ローゼット (耳なし)

下記への取り付けは工事店・電気店にご相談ください。



※電気工事士の資格が
必要です。

保証書付

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は、「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ページ

安全上の注意	2
各部の名称	4
取り付け	7
取り外し	10
明かりをつける	11
便利な機能	12
タイマーを使う	14
お手入れについて	17
故障かな?と思ったら	18
仕様	19
保証とアフターサービス	19
保証書	裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

IRIS OHYAMA

安全上の注意

安全に使用いただくために下記の事項を必ずお守りください。

※使用する前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

※配線器具の交換は有資格者による電気工事が必要です。資格のない方の工事は法律で禁止されています。

※ここに示した「警告」または「注意」項目は、お使いになる方や周囲の方々への危害防止および財産の損害防止を目的としたものです。いずれも安全に関わる重要な内容ですので、必ずお守りください。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生したりするおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



してはいけない「禁止」



しなければならない「指示」



一般注意を促す

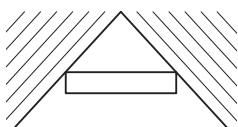
警告



禁止

次のような場所には取り付けない

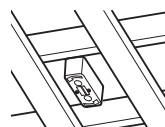
本照明器具は天井取り付け専用です。指定以外の場所に取り付けると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。



舟底天井



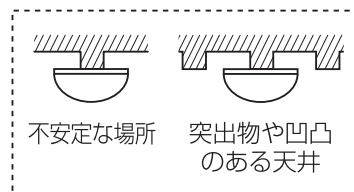
さおぶち天井



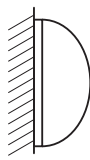
格子天井



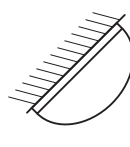
補強のない薄い天井
(ベニヤ板、石膏ボードなど)



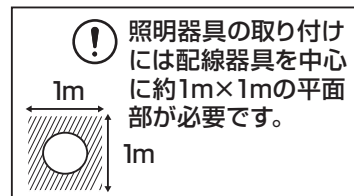
簡単にたわむ天井



壁面



傾斜天井



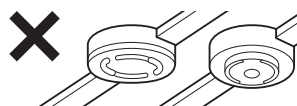
照明器具の取り付けには配線器具を中心に約1m×1mの平面部が必要です。



禁止

次のような配線器具には取り付けない

火災・感電・落下してけがの原因となります。配線器具の交換は、販売店・工事店にご依頼ください。(配線器具の交換は資格が必要です)



ケースウェイに取り付けている



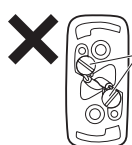
破損、またはぐらつくもの



シーリングハンガー付



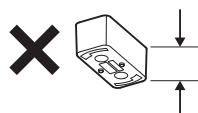
埋込ローゼットの出しろが10mm未満14mm以上



端子電源端子露出



凸部凸部のあるもの



角型・丸型引掛シーリングの出しろが20mm未満24mm以上

警告

 改造	改造や、部品交換をしない 落下・感電・火災などの原因になります。
 調光器	調光器を使用しない 破損や発煙の原因になります。  「入・切」専用 交換
 可燃物	可燃物で覆ったり、被せたり、近づけたりしない 火災の原因になります。

 必ず実施	取り付けは確実に行う 落下・破損・けがの原因になりますので、本書にしたがい確実に行ってください。
	異常を感じたら速やかに電源を切る すぐに電源を切り、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。
	交流100Vで使用する 火災・感電の危険がありますので、定格電圧以外では使用しないでください。

清掃・取り付け・取り外し時は必ず電源を切る 感電の原因になります。	
---	--

注意

 直視禁止	LED光源を直視しない 目の傷みの原因になる場合があります。	 禁止	温度の高い場所で使用しない 火災の原因になりますので、高温の場所へは設置しないでください。
 接触禁止	点灯中・消灯直後は、照明器具に触れない やけどの原因になる場合があります。		屋外や湿気の多い場所で使用しない 故障や感電の原因になりますので、屋外や湿気の多い場所では使用しないでください。
 禁止	破損した場合は使用しない 落下してけがの原因になります。 破損した場合は修理に出してください。		薬品を使用しない 変形、火災の原因になります。 殺虫剤、かび取り剤などをかけないでください。
	温度が高くなる機器を近くに置かない 故障の原因になります。 以下のような設置場所は避けてください。 ・エアコン吹き出し口近くへの設置 ・真下に発熱機器の設置(ストーブ・コンロ等)	充電電池をリモコンに使用しない 操作できない場合があります。	
	水洗いしない 火災・感電の原因になります。 水につけたり、かけたりしないでください。 (17ページ参照)	 必ず実施	年に1回は自主点検を実施する 長期間の連続使用による発煙・発火・感電等の事故を防ぐため、定期点検を実施してください。 設置後8～10年経つと、自然に内部劣化が進みます。 ※参考使用条件:周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯した場合。 (JIS C8105-1解説による)

るすばん機能についてのご注意

- るすばん機能を設定することにより、自動で点灯・消灯します。留守中でも在宅を装うことができますが、住居侵入や盗難などを阻止するものではありません。
損害が発生しても責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 壁スイッチを切ったり停電したりすると、るすばん機能は解除されます。

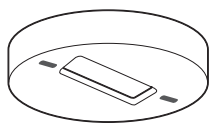
ご使用についてのお知らせ

- 1個の壁スイッチで2台以上の照明器具を操作しないでください。同時に切り替わらない場合があります。
- 付属のリモコンはアイリスオーヤマ製照明器具専用です。他のリモコンを使用する機器(テレビなど)には使用できません。
- 本照明器具の近くで他の赤外線リモコン方式の機器やワイヤレス機器を使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 点灯直後や明るさ・光色を切り替えた直後などに、リモコン信号を受信しにくくなる場合があります。
その際は少し時間を置いて、再度リモコンを操作してください。
- 3Dテレビを視聴しているときは、本照明器具のリモコンが反応しにくくなる場合があります。
- 天井や壁、床の材質によっては、リモコンが反応しにくくなる場合があります。
- ラジオ、ワイヤレス方式の機器はなるべく照明器具から離して使用してください。雑音が入る場合があります。
- 本照明器具はリモコンで消灯しても、約0.5Wの電力を消費しています。使用しないときは、壁スイッチをOFFにしてください。ただし、るすばん機能、おやすみタイマーを設定しているときは除きます。
- LED光源には、ばらつきがあるため、同じ型式・形状の商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 照射距離が近い場合、照射面で光むらがある場合があります。
- 本照明器具は、LED光源が内部に組み込まれているため、LED光源の交換はできません。
- 停電復帰時や、予期せぬごく短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。

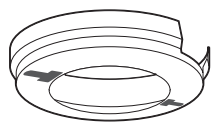
各部の名称

- 組み立てる前に下記の部品がすべてそろっていることを確かめください。
- 表記以外の部材は梱包材です。

照明器具

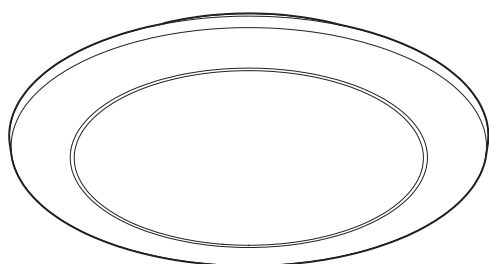


スペーサー（角）

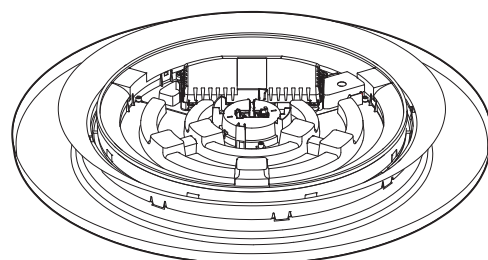


スペーサー（丸）

本体（分解しないでください）



本体裏側

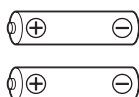


リモコン付属品

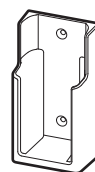
- リモコン:1台
(操作方法は11ページ参照)



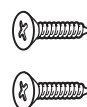
- 単3形乾電池:2本
※動作確認用



- リモコンホルダー:1個



- ねじ:2本



リモコン

① 壁スイッチを「ON」にする



② リモコンを本体に向けてボタンを操作する



■ 明るさを変える

シーリングライトの明るさを調節します。
※調光10段階（常夜灯は2段階）
調光範囲を超えると、「ピピッ」と音がします。

調光ボタン [明るい]

明かりを1段階明るくします。
長押しで連続調節できます。
消灯状態で押すと点灯します。

調光ボタン [暗い]

明かりを1段階暗くします。
長押しで連続調節できます。
繰り返し押していくと最後は消灯します。

※常夜灯の明るさの調節
常夜灯の状態では調光ボタンを押して明るさを調節します。
常夜灯の明るさは記憶され、次に点灯したときは、記憶された明るさで点灯します。

■ 明るさと色を記憶させる

メモリ設定ボタン

設定した明るさと色を記憶させます。
ボタンを押すと、「ピピッ」と音がします。
メモリ点灯ボタンを押したり、壁スイッチを切り替えたりすると再現できます。
※常夜灯はメモリ設定はできません。

るすばんボタン

留守中でも、点灯と消灯を毎日繰り返します。

■ 明かりをつける

全灯ボタン

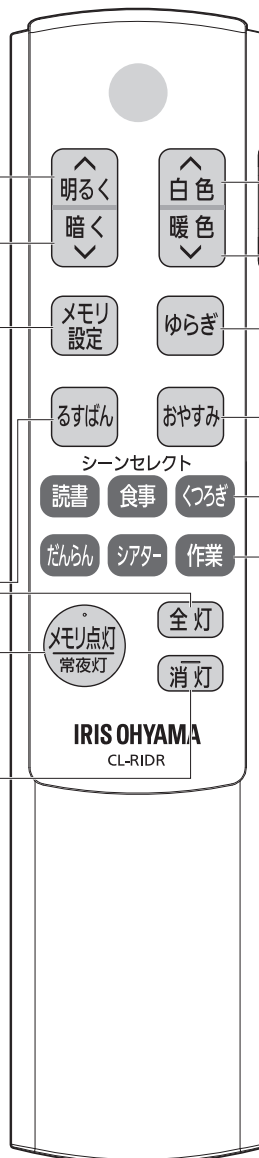
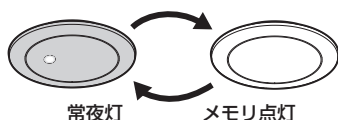
100%の明るさで点灯させます。

消灯ボタン

明かりを消灯させます。

メモリ点灯 / 常夜灯ボタン

メモリに記憶させた明るさで点灯（メモリ点灯）させたり、常夜灯を点灯させたりします。
ボタンを押すたびにメモリ点灯と常夜灯が切り替わります。
※出荷時に記憶されている明かり（点灯状態）は全灯です。



上照明・下照明切替スイッチ

調光・調色する光源の上側と下側を切り替えます。

■ 色を変える

シーリングライトの色を調節します。
※調色11段階
調色範囲を超えると、「ピピッ」と音がします。

調色ボタン [白色 (昼光色)]

明かりを1段階ずつ白色に近づけます。
長押しで連続調節できます。

調色ボタン [暖色 (電球色)]

明かりを1段階ずつ暖色に近づけます。
長押しで連続調節できます。

ゆらぎボタン

上照明がリラックスさせる特定のサイクルで明るくなる、暗くなるを繰り返します。
光色はボタンを押した際の色のままになります。
もう一度ボタンを押すと解除されます。

おやすみボタン

就寝時などに1回だけ消灯できます。

■ シーンを切り替える

シーンボタン [読書]

白黒のコントラストがわかりやすい昼光色で下方光を最大で照らします。圧迫感を抑えるようにさわやかな昼白色の間接光で天井を明るく照らします。

シーンボタン [食事]

食事がおいしく見える暖色系の温白色で下方光のみを照らします。食卓全体を明るくすることで料理を照らし楽しい雰囲気演出します。
(ゆらぎボタンは使えません)

シーンボタン [くつろぎ]

くつろぎの光である電球色で下方光をうすうす照らし、天井も夕暮れの色をイメージして電球色で照らします。

シーンボタン [だんらん]

色再現性の良い温白色で上下方向を照らすことで楽しさをイメージさせます。親しみやすい空間を演出します。

シーンボタン [シアター]

くつろぎの光である電球色で天井のみをうすうす照らし、映画鑑賞に適した間接照明のような落ち着いた空間を演出します。

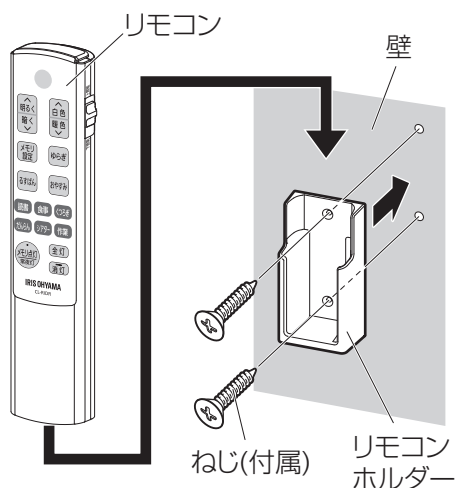
シーンボタン [作業]

下方光は色再現性の良い昼白色で視作業に十分な明るさを確保します。温かみのある温白色で天井を明るく照らし作業集中できる空間を演出します。

■ リモコン収納のしかた

- リモコンホルダーを壁に取り付け、壁掛け収納ができます。

(※収納した状態では操作しないでください)



■ 乾電池の入れかた

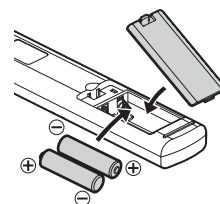
1

つまめを押しながら、裏面のカバーを持ち上げる。



2

表示に合わせて＋を間違えないように乾電池を入れ、つまめの向きを合わせてカバーを閉める。



- 電池の寿命は、新品のアルカリ電池を使用した場合で約1年です。付属の電池は動作確認用なので、上記より早く消耗する場合があります。
- 電池を交換するときは、2本とも新品の単3形アルカリ乾電池に交換してください。
※充電式電池は使用できません。
- 新旧、異種の電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しない場合は電池を外して保管してください。

■ チャンネル切り替えについて

※出荷時はチャンネル1に設定されています。

リモコンに電池が入っていること、壁スイッチがあれば、ON（入）になっていることを確認してから、変更してください。

リモコンの裏カバーを外します。
リモコンを照明器具に向けながら内側にあるスライドスイッチを動かしてチャンネルを変更してください。
※リモコンのチャンネル切り替えに合わせて、チャンネル設定信号が本体にも送られます。

チャンネルが切り替わると、照明器具から音が出ます。
チャンネル1に切り替え：「ピッ」
チャンネル2に切り替え：「ピピッ」

照明器具からの音を確認したら、リモコンの裏カバーを戻してください。

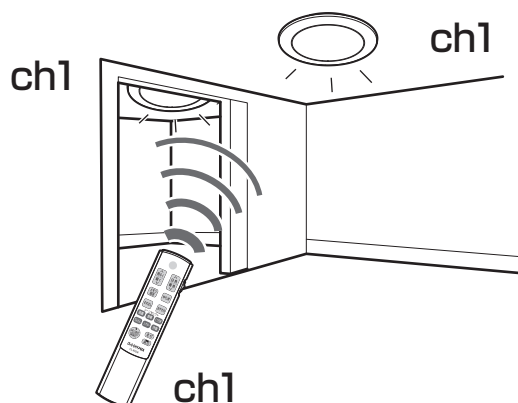


複数の照明器具がある場合

● 1つのリモコンで操作する

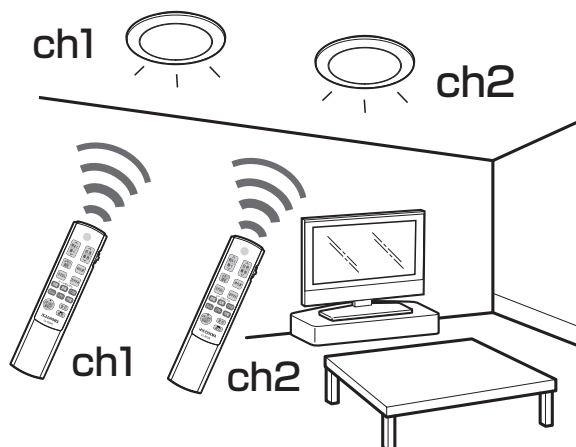
隣接する照明器具を同じチャンネルに設定します。

※ 照明器具間の距離やリモコン操作時の方向によっては同時に点灯しない場合があります。



● 別々のリモコンで操作する

隣接する照明器具のチャンネルを別々に設定することでそれぞれ対応するリモコンでのみ操作できます。



ご注意

複数の照明器具があり、別々のリモコンで操作したい場合は、設定を変更したい照明器具だけが信号を受ける向きに向けるか、設定を変更したい照明器具に近づくなどして設定してください。

他の照明器具も、チャンネル設定信号を受けると設定が変わってしまいます。

※設定変更をしない方の照明器具の壁スイッチをOFF（切）にしたり、間に扉があればその扉を閉めて、設定変更を行ってください。

取り付け



警告

必ず電源を遮断してください。



注意

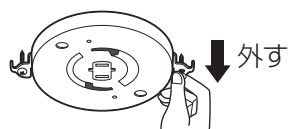
高所での作業になります。
必ず足元の安全を確保してから行ってください。

天井に付いている配線器具を確認する

右図以外の配線器具、または配線だけのものは取り付けできません。

一般の方の工事は法律で禁止されています。
電気店または工事店に依頼してください。

※ローゼットの耳部にねじが付いている場合は、
ねじを外してから照明器具を取り付けてください。



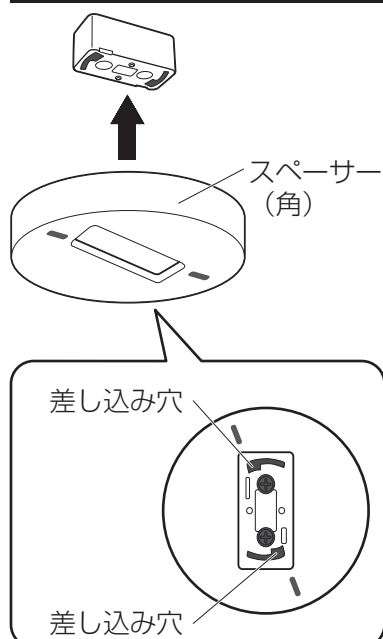
<側面図> 天井からの出しろ 天井 出しろ		
20mm以上24mm未満	10mm以上14mm未満	
角形引掛シーリング	丸形引掛シーリング	埋込ローゼット (耳つき)
フル引掛シーリング	丸形フル引掛シーリング	埋込ローゼット (耳なし)

配線器具にスペーサーを取り付ける

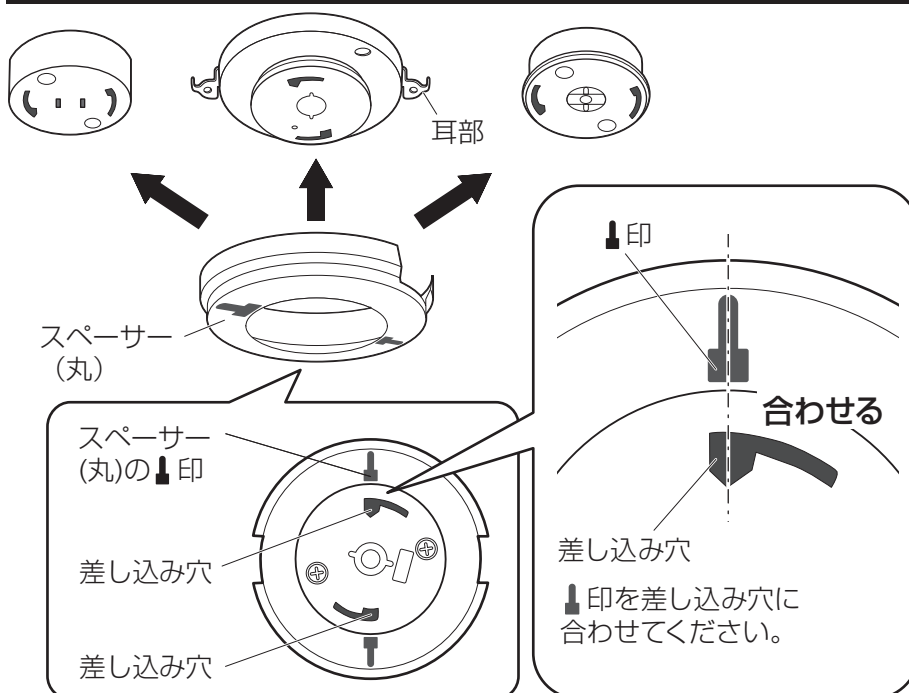
それぞれの配線器具に合ったスペーサーを取り付けることで、器具が取り付けやすくなります。
(埋込引掛ローゼットの場合は、スペーサーは使用しません。)

※一部の配線器具には取り付けられない（ゆるい、きつい）場合があります。その場合には、スペーサーは使用しないでください。

角型引掛シーリングの場合



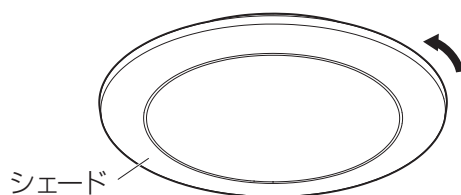
丸型引掛シーリング・ローゼットの場合



シェードを取り外す

シェードを反時計回りに回して本体から取り外してください。

2



本体を取り付ける

①本体中央のつまみを持ち、のぞき窓から配線器具の（端子）差し込み穴の位置を確認し、スペーサーの印に本体の印を合わせます。

※スペーサーを使用していない場合は、本体の印を目安に端子を差し込み穴に合わせてください。

②そのまま持ち上げて端子を差し込んでください。

③つまみを時計回りに回します。

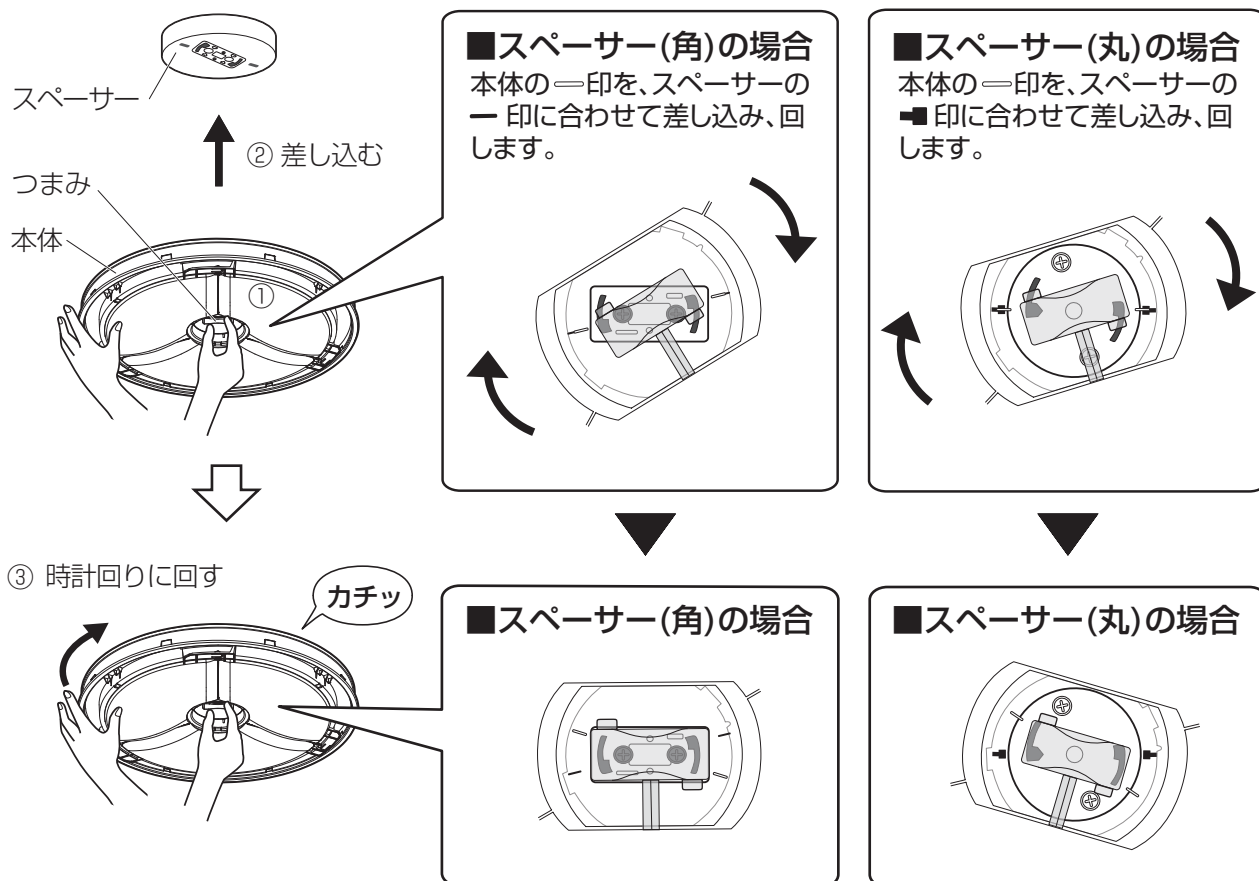
つまみを天井側に押しつけながら「カチッ」と音がするまで回してください。

※ロック解除ボタン（「取り外し」参照）は押さずに回してください。

押しながら回すと「カチッ」と音がしません。

※配線器具の種類によっては「カチッ」と音がしない場合があります。

3

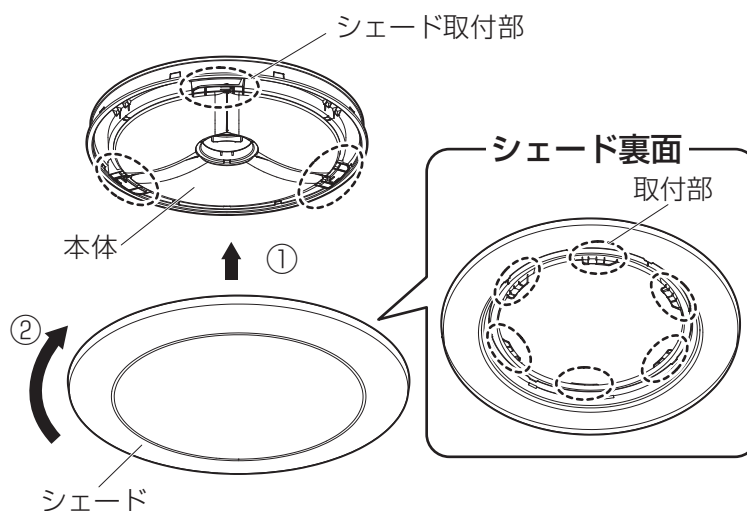


注意

本体を必要以上に回転させないでください。引掛シーリングやローゼットが破損します。

シェードを取り付ける

- ①シェードの取付部が本体のシェード取付部の間に入るように合わせ、シェードを押しつけながら時計回りに軽く回してください。
シェードの取付部が本体のシェード取付部に入ります。
- ②シェードの回転が止まるまで時計回りに回し、確実に取り付けてください。



注意

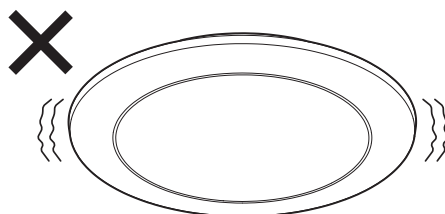
本体を必要以上に回転させないでください。
引掛シーリングやローゼットが破損します。



警告

シェードは確実に本体に取り付けてください。
落下によるけがのおそれがあります。

照明器具がぐらついたり、傾いたりしている場合は正しく取り付けられていないため、もう一度取り付けなおしてください。



※取り付け後、使用したときに異常が見られた場合は、壁スイッチを切り、もう一度照明器具を外して、取り付けなおしてください。

取り外し



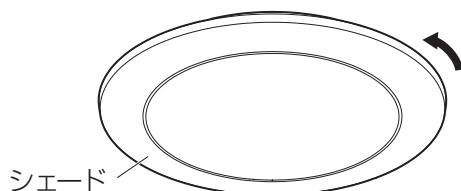
警告

- 取り外しは必ず電源を遮断してから行ってください。
- 消灯直後は本体や器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから取り外してください。

シェードを取り外す

シェードを反時計回りに回して本体から取り外してください。

1



本体を取り外す

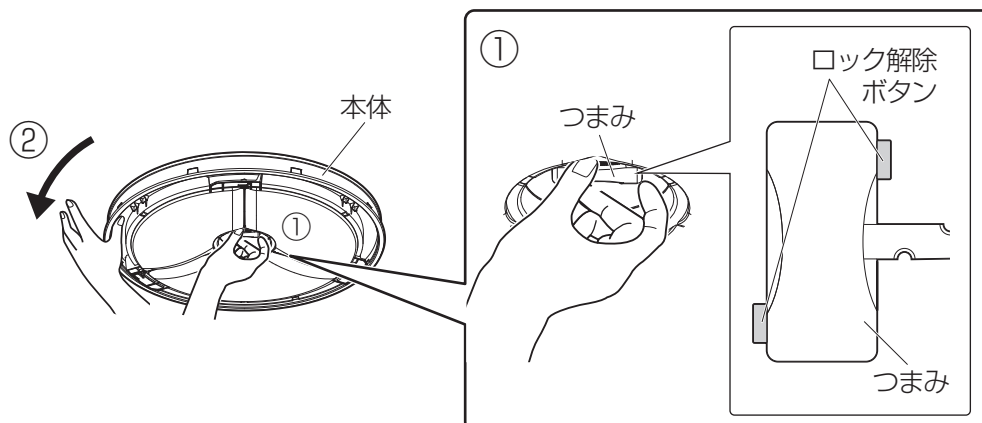
- ①つまみの2か所のロック解除ボタンを2つ共押しながら、
- ②反時計回りに回して本体を外してください。



注意

本体を片方の手で支えながら外してください。
器具の落下によるけがや破損の原因となります。

2



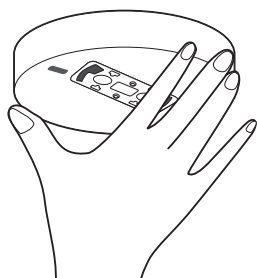
スペーサーを取り外す



注意

本体を外したはずみでスペーサーが落下することがあります。

3

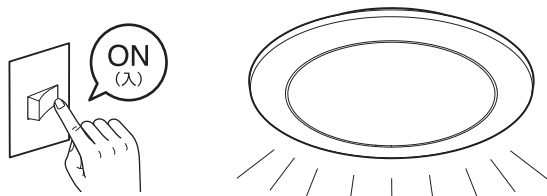


明かりをつける

■ 壁スイッチで操作する

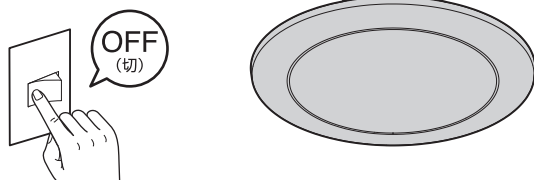
点灯

壁スイッチを切る前の点灯状態になります。

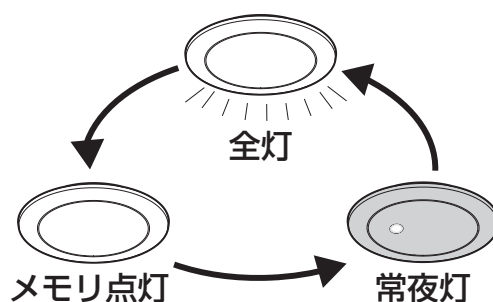
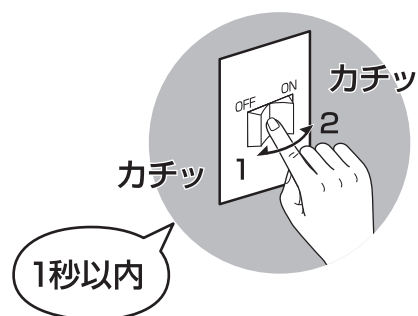


消灯

消灯します。



点灯状態の切り替え



素早く(1秒以内)スイッチを切/入することで、点灯状態を切り替えることができます。

おしらせ

- 工場出荷時の点灯状態は全灯です。
- 壁スイッチをONにしても点灯しない場合は、壁スイッチを素早く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、リモコンで点灯してください。
- 壁スイッチを切ると、るすばん機能、おやすみタイマーは解除されます。

■ リモコンで操作する

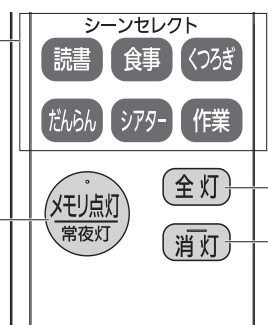
壁スイッチを「ON」にして、お好みのボタンで点灯させてください。

シーンボタン 6 種類

生活シーンに合わせた 6 種類の明かりに、ボタン一押しで点灯させます。

メモリ点灯/常夜灯ボタン

メモリに記憶させた明るさで点灯(メモリ点灯)させたり、常夜灯を点灯させたりします。ボタンを押すたびにメモリ点灯と常夜灯が切り替わります。
※ 出荷時に記憶されている明かり(点灯状態)は全灯です。



全灯ボタン

100%の明るさで点灯させます。

消灯ボタン

明かりを消灯させます。

便利な機能

■ 明るさと色を変える

上照明と下照明を調光・調色できます。

上照明・下照明切替スイッチをあらかじめスライドさせ、調節する照明に切り替えてください。

照明器具の明るさと色が調節できます。調光ボタンと調色ボタンを同時に押して、調光・調色を行うことはできません。

※調光10段階（常夜灯は2段階）、調色11段階。ボタンを押すと、「ピッ」と音がします。調光範囲をこえると、「ピピッ」と音がします。

調光ボタン [明るく]

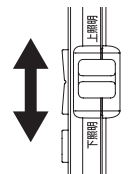
明かりを1段階明るくします。
長押しで連続調節できます。
消灯状態で押すと点灯します。

調光ボタン [暗く]

明かりを1段階暗くします。
長押しで連続調節できます。
繰り返し押していくと最後は消灯します。

上照明・下照明切替スイッチ

調光、調色するライトを上側と下側で切り替えます。

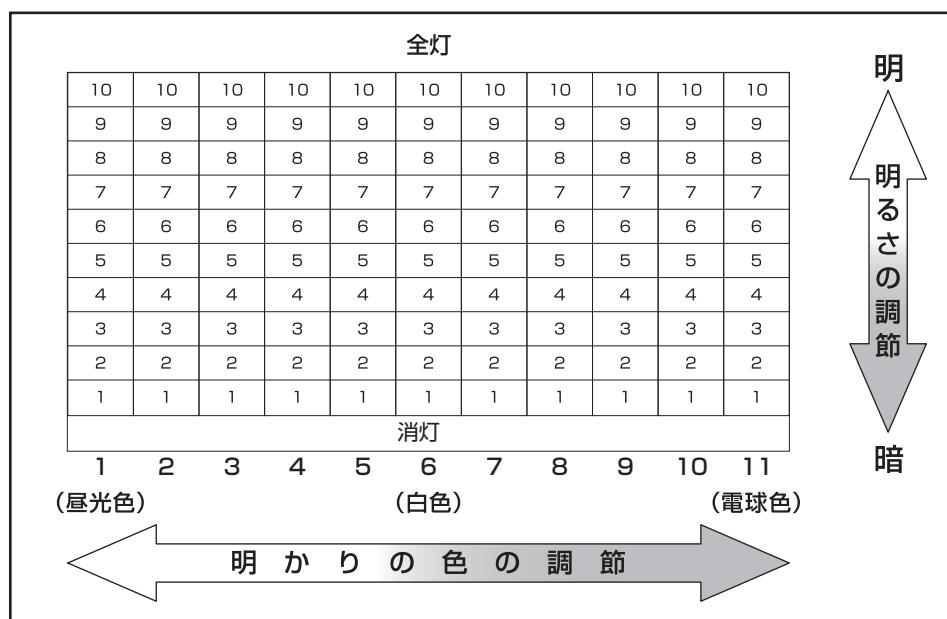


調色ボタン [白色(昼光色)]

明かりを1段階白色に近づけます。
長押しで連続調節できます。

調色ボタン [暖色(電球色)]

明かりを1段階暖色に近づけます。
長押しで連続調節できます。



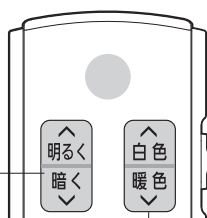
■ 明るさと色を記憶させる

1

調光ボタン、調色ボタンで明るさと色を設定します。

調光ボタン

調色ボタン

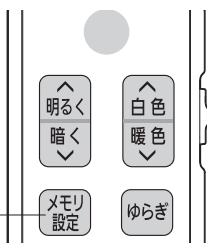


2

メモリ設定ボタンを押すと、そのときの明るさと色を記憶します。

※記憶した明るさと色は、メモリ点灯で再現点灯できます。

メモリ設定ボタン

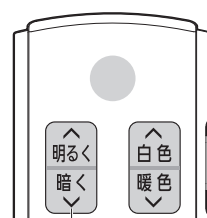


■ 常夜灯の明るさを調節する

常夜灯点灯時に「明るく」、「暗く」のボタンで2段階に調節できます。

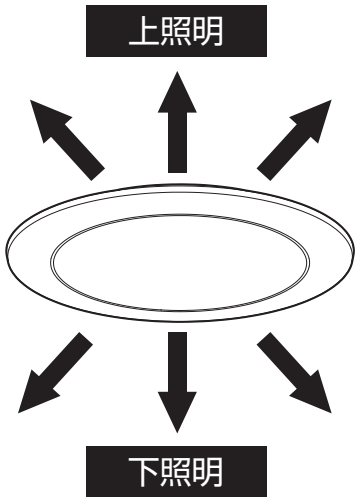
常夜灯を次回点灯したときは、前回の明るさを再現します。

調光ボタン



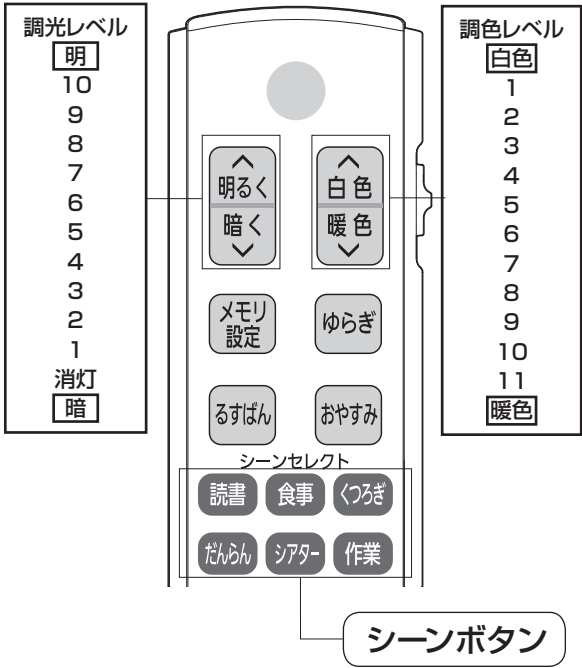
シーンの紹介

上下の照明の光量と光色を調整することで様々なシーンを演出します。シーンボタンを押すことで、あらかじめ設定してある6つのシーンを呼び出すことができ、更に調光・調色する事でお客様の生活にあったオリジナルのシーンをお楽しみいただけます。
(シーンボタンに記憶されている設定は変更できません。)



シーン	下照明		上照明	
	調光	調色	調光	調色
【読書】 白黒のコントラストがわかりやすい昼光色で下方方向を最大で照らします。圧迫感を抑えるようにさわやかな昼白色の間接光で天井を明るく照らします。	10	1	10	3
【食事】 食事がおいしく見える暖色系の温白色で下方光のみを照らします。食卓全体を明るくすることで料理を照らし楽しい雰囲気を演出します。 (ゆらぎボタンは使えません)	10	10	消灯	
【くつろぎ】 くつろぎの光である電球色で下方光をうっすらと照らし、天井も夕暮れの空をイメージして電球色で照らします。	1	11	2	11
【だんらん】 色再現性の良い温白色で上下方向を照らすことで楽しさをイメージさせます。親しみやすい空間を演出します。	2	10	10	9
【シアター】 くつろぎの光である電球色で天井のみをうっすらと照らします。映画鑑賞に適した間接照明のような落ち着いた空間を演出します。	消灯		1	11
【作業】 下方は色再現性の良い昼白色で視作業に十分な明るさを確保します。温かみのある温白色で天井を明るく照らし作業集中できる空間を演出します。	10	5	10	10

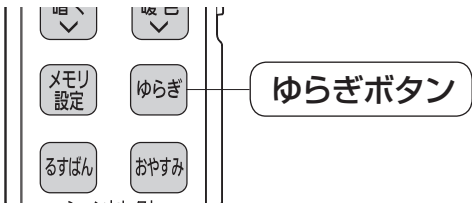
リモコンボタンとレベルの詳細



ゆらぎボタンについて

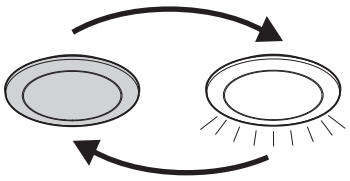
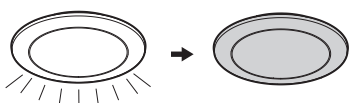
上部の間接照明のあかりを人がリラックスした時の呼吸サイクルに近いサイクルで明暗を繰り返すプログラムが入っております。人は、「特定の色のあかり」が「リラックスした時の呼吸サイクルで明滅」する照明環境に長時間居ると、無意識のうちにそのあかりの明暗サイクルに呼吸を合わせることが知られており、その呼吸のサイクルによって副交感神経が働き、自然とリラックスすることができます。ぜひ光のゆらぎによるリラックス効果を体験してみてください。

※効果は個人により差があります



タイマーを使う

次の2つのタイマーがあります。

るすばん機能	おやすみタイマー
	
留守中でも、点灯と消灯を毎日繰り返します	就寝時などに一回消灯できます

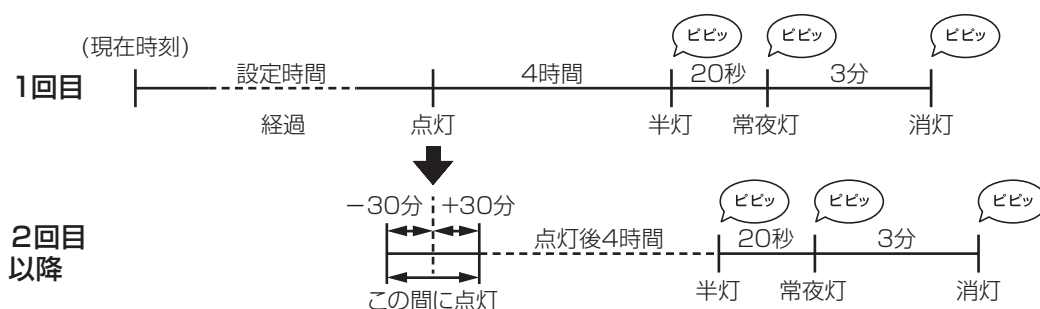
るすばん機能を使う

毎日繰り返し、4時間点灯します。(点灯状態はメモリ点灯です。)

2回目以降の点灯時刻は、最初に設定した時刻の前後約30分の間でランダム(無作為)に変わります。



- 器具が自動で点灯・消灯しますので、留守中でも在宅を装うことができますが、住居侵入や盗難などを阻止するものではありません。万が一被害にあわれても、責任は一切負いかねます。
- 壁スイッチを切ったり、停電したりすると、るすばん機能は解除されます。(設定もリセットされます。)
- 全灯中にくるすばん機能による点灯時刻になったときは、メモリ点灯には変わらずに、そのままの状態(point)で点灯し続けます。
- るすばん機能より、おやすみタイマーの設定が優先されます。
- 製品の仕様上、長期間るすばん機能を使うと点灯・消灯時間が大きくずれる場合があります。1週間ごとの再設定をおすすめします。



- ※●半灯とは、現在点灯している明るさの、約半分の消費電力の明るさです。ただし、現在、最小で点灯しているときの半灯は、最小点灯のままとなります。
- 常夜灯点灯中に消灯するときはビピッと音がしてお知らせすると共に、常夜灯(3分)→消灯と段階的に変化します。
 - 消灯したくない場合は、変化しているときにお好みの点灯状態にしてください。

設定方法



- るすばんボタンを1回押ただけでは動作しません。必ず、時間を設定してから、もう1回押してください。
- 設定操作中に、るすばん、明るい、暗い以外のボタンを押すと、るすばん機能の設定を中止します。

①るすばんボタンを1回押す

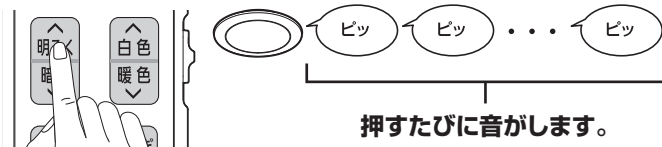
るすばんを1回押す



るすばん機能を設定する状態になります。

② 明るいボタンをるすばん機能で点灯させるまでの時間数と同じ回数押す

明るいを、点灯させるまでの時間数と同じ回数つづけて押す



押し過ぎたときは、押し過ぎた時間数と同じ回数暗いボタンを押して戻すか、るすばんボタンをさらに2回押して、②(本項目)から時間を設定しなおしてください。

※るすばん、明るい、暗いボタン以外のボタンを押した場合、るすばん機能の設定を中止しますので、最初から設定しなおしてください。

③ もう1回、るすばんボタンを押す

るすばんボタンを押して、タイマー設定を決定します。

るすばんを1回押す



ビーと音がしたあと、点灯するまでの時間数と同じ回数、ビッと確認のための音がして、設定が完了し、通常の操作状態に戻ります。



注意

- るすばん機能を設定するときは、1分以内に設定を完了(るすばんボタンをもう1回押す)しないと、解除されます。この場合は、最初から設定しなおしてください。
- 設定できる時間は1時間単位で1時間から24時間までです。
この範囲を超えた設定をしようすると、設定前の時間のままピピッと音がして警告します。(このときの設定時間は、1時間または24時間です。)
- るすばん機能は毎日動作します。期間を決めて動作させることはできません。
- るすばん機能はほぼ24時間に1回、メモリ点灯とその4時間後の消灯を、繰り返し行います。

解除方法

るすばんボタンを長押しする

るすばんを長押しする



ビッと音がして、しばらくしてからビーと音がすると、るすばん機能が解除されます。



注意

- 壁スイッチを切ったり、停電したりすると、るすばん機能は解除されます。(設定もリセットされます。)
- るすばん機能が解除されると、設定時間(2回目以降は設定時刻)もリセットされます。

■ おやすみタイマーを使う

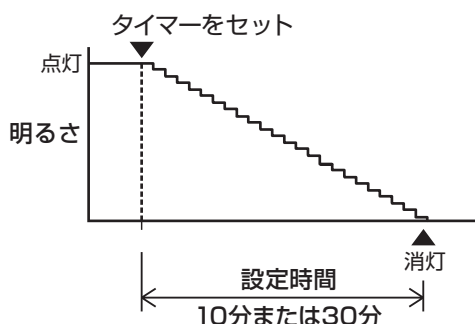
設定後徐々に暗くなり、設定時間(10分または30分)で消灯します。



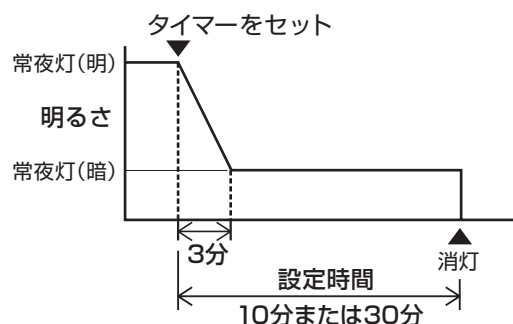
注意

- 壁スイッチを切ったり、停電したりすると、おやすみタイマーは解除されます。

〈点灯状態からのおやすみタイマー動作イメージ〉



〈常夜灯でのおやすみタイマー動作イメージ〉



※暗めの常夜灯で設定した場合、明るさは暗めのまま変わりません。

設定方法



注意

- おやすみタイマーで消灯した場合、再点灯させるには、リモコンで点灯させてください。
- 壁スイッチを短く（1秒以内）入切させて点灯させることもできますが、このときはるすばん機能も解除されますのでご注意ください。

おやすみタイマー10分：おやすみボタンを1回押す

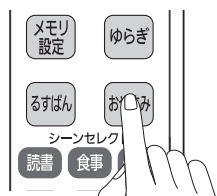
おやすみを1回押す



おやすみタイマーが10分に設定され、動作を始めます。

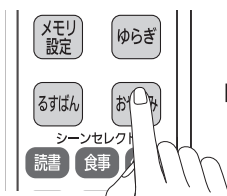
おやすみタイマー30分：おやすみボタンを2回押す

おやすみを押す (1回目)



(5秒以内)

おやすみを押す (2回目)



おやすみタイマーが30分に設定され、動作を始めます。

おやすみタイマー解除：おやすみボタンを3回押す

おやすみを押す (1回目)



(5秒以内)

おやすみを押す (2回目)



(5秒以内)

おやすみを押す (3回目)



おやすみタイマーが解除されます。

メモリボタン、おやすみボタン以外のボタン（調光ボタン、全灯ボタンなど）を押してもおやすみタイマーは解除されます。

おやすみタイマー再設定：おやすみボタンを1回または2回押す

おやすみを押す (1回目)



おやすみタイマーが10分に設定され、動作を始めます。

(5秒以内)

おやすみを押す (2回目)



おやすみタイマーが30分に設定され、動作を始めます。

おやすみタイマーの動作中に再設定する場合は、もう一度おやすみタイマーボタンを押して時間を設定してください。おやすみタイマー設定前の明るさに戻り、設定された時間で徐々に消灯します。

お手入れについて

⚠ 注意

- 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。
- 消灯直後は照明器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから清掃してください。
- 照明器具に水をかけたり、水の中につけたりして洗うことは絶対におやめください。火災、感電の原因になります。

※照明器具が汚れていると暗くなります。明るく安全に使用していただくため、定期的に清掃することをおすすめします。

次のものは使用しない



ベンジン



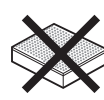
シンナー



みがき粉



タワシ



スポンジの硬い面

■照明器具

1

水で薄めた中性洗剤に、柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取る

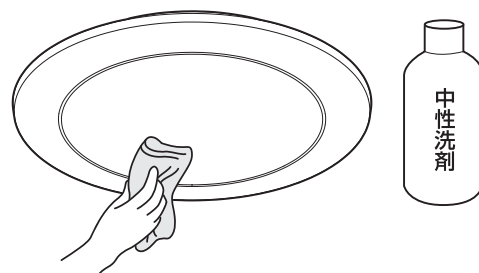
2

汚れ落ちを確認後、洗剤分を拭き取る

水に浸して固く絞った布で完全に拭き取ってください。

3

仕上げに、乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取る

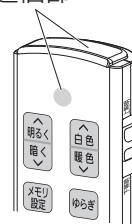


■リモコン

送信部の汚れを、乾いた柔らかい布で拭き取る

汚れるとリモコンが効きにくくなります。

送信部



故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状 態	考えられる原因	処 置
リモコンで照明器具が操作できない	→ リモコンの電池が正しく入っていない	→ 電池を正しく入れてください。
	→ リモコンの電池が消耗している	→ 2本とも新しい電池に交換してください。(5ページ参照)
	→ 照明器具とリモコンのチャンネルが合っていない	→ 照明器具とリモコンのチャンネルを合わせてください。(6ページ参照)
照明器具が点灯しない	→ 壁スイッチがOFFになっている	→ 壁スイッチをONにしてください。
壁スイッチをONしても点灯しない	→ 照明器具が「消灯」状態になっている	→ 壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで点灯してください。(11ページ参照)
操作していないのに明かりが消える	→ るすばん機能、おやすみタイマーが設定されている	→ タイマーの設定通りであれば故障ではありません。
操作していないのに明かりがつく	→ 短い停電などにより、「壁スイッチで点灯状態を切り替える」機能が働き、点灯状態が切り替わることがあります	→ 使用しないときは、壁スイッチをOFFにしてください。
操作していないのに明かりが変わる	→ 壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで切り替えてください。(11ページ参照)	
	→ 上照明がゆらぎモードになっている	→ リモコンのゆらぎボタンを押してゆらぎモードを解除してください。
明かりが繰り返し変化する	→ 工場出荷時の試験点灯モードになっている	→ 壁スイッチをOFFにするか、リモコンのメモリ設定ボタンとゆらぎボタンを同時に7秒以上押して、試験点灯モードを解除してください。

それでも解決できないときは・・・お買い上げの販売店、またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

仕様

品番	消費電力	器具光束	定格電圧	定格周波数	待機電力	サイズ	質量
CL8DL-IDR	最大点灯時：46W	5800lm (最大点灯時)	AC100V	50/60Hz	0.5W	φ704 × H150 mm	約3.5kg
	最小点灯時： 5W						
CL12DL-IDR	最大点灯時：55W	7000lm (最大点灯時)					
	最小点灯時： 5W						

※LEDモジュール寿命は40,000時間です。LEDが点灯しなくなるか、光束が70%に低下するまでのいずれか短い時間を推定したものです。製品の寿命を保証するものではありません。

※最小点灯時の消費電力は、下照明のみを最小点灯させた時の値になります。

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。保証書がありませんと、無料修理保証期間内でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。

24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の保証期間となります。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、6年間保有しています。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

■ 長期ご使用の場合は商品の自主点検をおすすめします。

- スイッチを入れても、ときどき点灯しないことがある。
- 照明器具を動かすと点滅する。
- こげくさい臭いがする。
- 点灯時に漏電ブレーカーが動作することがある。
- 変形、がたつき、ゆるみなどがある。
- 照明器具に破損がある。



ご使用を中止してください

故障や事故の防止のため電源を切り、必ず販売店や電気工事業者に点検をご依頼ください。
左記以外の不具合がある場合も、販売店やアイリスコールにお問い合わせください。

LEDシーリングライト CL8DL-IDR CL12DL-IDR

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より:5年間 ただし、リモコン、シェード、付属品を除く	
お客様	お名前		※販売店
	ご住所 〒		
	電話 () -		
		住所・店名	
		電話 () -	

販売店様へ： ※ 印欄は必ず記入してお渡してください。

お客様へ： レシートまたはご購入を証明するものは、本保証書といっしょに大切に保管してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは
アイリスコール (通話料無料)

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは
修理専用コール (通話料無料)

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00~17:00、土・日・祝日 9:00~12:00 / 13:00~17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通話料無料)

0800-888-2600

Web からの問い合わせは

<https://www.irisohyama.co.jp/support/>
メールフォームにご記入のうえ送信してください